

## 第30回 経営協議会議事要録

日時 平成22年1月28日(木) 13時30分～14時50分  
場所 事務局第二会議室  
出席者 宮田亮平学長、三浦春政理事、玉井賢二理事、  
池田政治美術学部長、植田克己音楽学部長、  
石田義雄委員、海老澤 敏委員、佐々木正峰委員、  
高階秀爾委員、中村胤夫委員、根本二郎委員、  
末永壽男会計課長  
監事：中島尚正監事、竹内雄也監事  
欠席者 なし

### 議題

1. 第2期中期目標についての意見(原案)及び中期計画案について  
議長から標記のことについて提案があり、三浦理事から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。  
(主な意見)
  - ・中期目標と予算との関連はどうなっているのか。(予算未決定のため空欄)
  - ・事業仕分けにより文部科学省関係予算もカットされているが、芸大への影響はどうか。
  - ・同様に舞台芸術関係予算(平成22年度予算)も大幅にカットされたが、その翌年度、翌々年度の予算措置がより心配である。
  - ・文化芸術予算の必要性を主張し、これ以上予算を削減されてはどうにもならないという何らかの条件を考えないといけない。
  - ・国立大学法人は仕分けの対象外と考えていいものか。初等・中等教育予算は、授業料無償化等増額することはあっても減ることはないであろうから、そのしわ寄せが高等教育予算にくる可能性がある。芸大としてやるべきことを明確に主張する必要がある。
  - ・文化政策を知らない政治家が多いので、芸大が主張し、また、自治体や企業等と連携し社会貢献していることを知らしめる必要がある。
2. その他 特になし

### 報告及び連絡事項

1. 平成22年度概算要求に係る重点事項の概要について  
標記のことについて、三浦理事から、資料に基づき報告があった。
2. 平成22年度収入・支出予定額[予算積算上]について  
標記のことについて、三浦理事から、資料に基づき報告があった。
3. 平成21年度寄附金受入状況(平成21年10月～12月入金分)について  
標記のことについて、会計課長から、資料に基づき報告があった。

#### 4. その他

(主な意見)

- ・ 芸大には図書館、美術館等は設置してあるが、音楽のためのミュージアム、すなわち楽器博物館がない。西欧の芸術系大学には、伝統を受け継ぎ保管し引き継ぐ楽器博物館が必ず設置してある。唯一の国立芸術大学である本学にないのは誠に残念である。時間がかかるかもしれないが、計画し予算を組み、ぜひ設置してほしい。例えば、「小泉文夫記念館」を発展させ、東洋のコレクションと西洋の楽器を併せ持ち、音と音を生み出す楽器を収蔵する楽器博物館を設置したらどうか。
- ・ 教育・文化立国及び科学・技術立国は、国作りの、車に例えると両輪であり、それには知育・体育・美育、及び人間の感性教育が大事である。

○議長から、本会議終了後、15時から石田義雄先生の特別講演会「国鉄改革から20年」が音楽学部5-109室にて開催される旨の報告があった。